

高等学校 令和4年度（2学年用） 教科 公民 科目 公共

教科：公民 科目：公共 単位数：2 単位

対象学年組：第2学年 1組～6組

教科担当者：（1組：加藤春）（2組：加藤春）（3組：加藤春）（4組：加藤春）（5組：加藤春）（6組：加藤春）

使用教科書：（高等学校 公共（第一学習社）、最新公共資料集2023（第一学習社）、公共ノート（第一学習社））

教科 公民

の目標：

- 【知識及び技能】 選択・判断の手掛かりとなる概念や理論、及び倫理、政治、経済などに関わる現代の諸課題について理解しているとともに、諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめている。
- 【思考力、判断力、表現力等】 現代の諸課題について、事実を基に概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、解決に向けて公正に判断したり、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論している。
- 【学びに向かう力、人間性等】 国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとしている。

科目 公共

の目標：

【知識及び技能】	【思考力、判断力、表現力等】	【学びに向かう力、人間性等】
現代の諸課題を捉え考察し、選択・判断するための手掛かりとなる概念や理論について理解するとともに、諸資料から、倫理的主体などとして活動するために必要となる情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。	現実社会の諸課題の解決に向けて、選択・判断の手掛かりとなる考え方や公共的な空間における基本的原理を活用して、事実を基に多面的・多角的に考察し公正に判断する力や、合意形成や社会参画を視野に入れながら構想したことを議論する力を養う。	よりよい社会の実現を視野に、現代の諸課題を主体的に解決しようとする態度を養うとともに、多面的・多角的な考察や深い理解を通して涵養される、現代社会に生きる人間としての在り方生き方についての自覚や、公共的な空間に生き国民権を担う公民として、自国を愛し、その平和と繁栄を図ることや、各国が相互に主権を尊重し、各国民が協力し合うことの大切さについての自覚などを深める。

	単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価規準	知	思	態	配当 時数
1 学期	公共的な空間をつくる私たち 青年期の特徴と発達課題、及び個人・社会・伝統と文化の視点から人間のあり方について理解するとともに、自己形成及び社会形成に主体的に参画することの意義について考察する。	・社会に生きる私たち ・個人の尊厳と自主・自律 ・多様性と共通性 ・キャリア形成と自己実現 ・伝統と文化とのかかわり	【知識・技能】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について理解する。 【思考・判断・表現】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・青年期の特徴と自己形成の課題、個人・社会・伝統と文化の三つの視点から捉えた人間のあり方について、自分自身の課題としても捉え、主体的に追究している。	○	○	○	9
	定期考査			○	○		1
	公共的な空間における人間としてのあり方生き方 現代の諸課題について判断し選択する際の考え方としての功利主義と幸福の原理や義務論と公正の原理を理解する。 生命倫理や環境倫理にかかわる課題について、功利主義や義務論の視点から考察し議論する。	・人間と社会のあり方についての見方・考え方 ・環境保護 ・生命倫理 ・公共的な空間を形成するための考え方 ・よりよく生きる行為者としての活動	【知識・技能】 ・現代の諸課題について判断し選択する手がかりとなる功利主義や義務論などの考え方について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○	○	6
2 学期	公共的な空間における基本的原理 公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解する。 これらがなぜ公共空間の基本原則とされるのか、また、それらを実現する上での課題について考察する。	・人間の尊厳と平等 ・個人の尊重 ・民主政治の基本原則 ・法の支配 ・自由・権利と責任・義務 ・世界の主な政治体制 ・日本国憲法に生きる基本的原理	【知識・技能】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義について理解している。 【思考・判断・表現】 ・公共的な空間における基本的原理である民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・公共的な空間における基本的原理である、民主主義、法の支配と立憲主義、人間の尊厳と平等などの意義とそれらを実現する上での課題について、主体的に追究している。	○	○	○	6
	定期考査			○	○		1
	法的主体となる私たち 法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、実際の社会生活の事象とも関連させながら理解する。 法の意義と役割、消費者の権利と義務、司法参加などにかかわる課題について考察し表現する。	・私たちの生活と法 ・法と基本的人権 ・自由・平等と法・規範 ・法をよりよく変えていくために ・さまざまな契約と法 ・消費者の権利と責任 ・裁判所と人権保障	【知識・技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	○	○	○	7
	定期考査			○	○		1
政治的主体となる私たち 政治と民主主義、地方自治及び国会、内閣のしくみと役割、政治参加と選挙、政党と利益集団、メディアと世論について、民主政治の実現の観点から理解する。 地方政治、国政に関する課題について、民主政治や民意の反映などの観点から解決に向けて考察し表現する。	・選挙の意義と課題 ・政治参加と世論形成 ・国会と立法 ・内閣と行政の民主化 ・地方自治と住民の福祉	【知識・技能】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、理解している。 【思考・判断・表現】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・法や規範の意義と役割、法の成立と適用、市民生活における法と契約、消費者の権利と責任、司法のしくみと司法参加の意義などについて、主体的に追究している。	○	○	○	5	
定期考査			○	○		1	
経済的な主体となる私たち 経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について理解している。 日本経済史 市場経済と経済運営 市場経済のしくみ 経済発展と環境保全 経済成長と国民福祉 金融の意義や役割 政府の経済的役割と租税の意義 社会保障と国民福祉	【知識・技能】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【思考・判断・表現】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 【主体的に学習に取り組む態度】 ・経済活動の意義、経済循環、市場経済のしくみと政府の役割、国民所得と経済成長、金融のしくみと働き、中央銀行の役割と金融環境の変化、財政の働きと課題、社会保障の考え方と課題について、主体的に追究している。	○	○	○	14		
定期考査			○	○		1	

<p>国際社会に生きる私たち</p> <p>国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、実際の国際社会の事象とも関連させながら理解する。</p> <p>国際政治、国際経済にかかわる諸課題について多面的・多角的に考察する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 国家と国際法 ・ 国境と領土問題 ・ 国際連合の役割と課題 ・ 平和主義と安全保障 ・ 核兵器の廃絶と国際平和 ・ 今日の国際社会 ・ 人種・民族問題と地域紛争 ・ 国際社会における日本の役割 ・ 国際分業と国際貿易体制 ・ 国際種収支と為替相場 ・ 経済的グローバル化と日本 ・ 地域的経済統合の動き ・ 国際社会における貧困や格差 ・ 地球環境問題 ・ 資源・エネルギー問題 ・ 国際社会のこれから 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について理解している。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、多面的・多角的に考察し、表現している。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 国際社会の成り立ち、国際連合の役割、日本の平和主義と冷戦、冷戦後の日本、現代の紛争とその影響、国際平和に向けた課題、貿易のしくみ、国際金融のしくみと動向、グローバル化と国際経済、国際経済の諸課題について、主体的に追究している。 	○	○	○	12
<p>3 学 期</p> <p>持続可能な社会づくりの主体となる私たち</p> <p>現代社会の諸課題について、探究的な課題を設定し、課題解決に向けて必要な情報を収集して分析したり考察したりする。</p> <p>探究の結果や自らの主張を論拠を明確にして説明したり表現したりする。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ 地球環境問題 ・ 資源・エネルギー問題 ・ 生命倫理 ・ 情報 ・ 国際社会の課題 	<p>【知識・技能】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決に必要な事項を理解している。また、第1編・第2編で学習した知識と関連付けている。 ・ 必要な資料を収集・整理し、必要な事項を抽出しまとめている。 <p>【思考・判断・表現】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 課題解決に向けて必要な資料や情報を収集し、分析したり考察したり判断したりしている。 ・ 得られた結果や自らの主張を、論拠を明確にして説明したり表現したりしている。 <p>【主体的に学習に取り組む態度】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 探究のための学習計画をふまえて、探究活動の進行を自ら振り返り調整しながら、解決に向けて主体的に取り組んでいる。 	○	○	○	6
<p>定期考査</p>			○	○		70
合計						